

平成29年度 第5回 調布市地域福祉推進会議

日時：平成29年10月13日（金）18：30～20：30

場所：調布市文化会館たづくり 西館2階 予防接種室

【出席者】

- 1 出席委員：23人
- 2 事務局・福祉総務課，地域福祉コーディネーター（社会福祉協議会）
- 3 傍聴者：1人
コンサルタント事業者

【資料】

- ・28年度実績（各地区協議会）・・・平成28年度事務報告書から
- ・地区協議会パンフレット

【議事】

1 開会

事務局：皆様，こんばんは。「平成29年度第5回地域福祉推進会議」です。地域について，皆さんで意見交換をしていただきたいと，4つのグループに分けさせていただいております。概ね，お住まいや勤務先がある地域によってグループ分けをしています。現在，福祉圏域ということで，8圏域を計画の中でご提案をさせていただいているところですが，今日は，この4つのグループでそれぞれ2つの圏域について，検討し御意見をいただきたいと思います。

各テーブルに福祉総務課の職員が，ファシリテーターとして席に付いておりますので，指示が出ましたら，作業をしていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

作業に入る前に，前回の議事録の確認です。何かご意見，修正等ございましたでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

次に，各グループごとに，発表者及び書記役の決定をしていただきます。

（各グループにおいて，発表者・書記の決定中）

事務局：では，このあと，作業に入りたいと思いますので，よろしくお願いいたします。

お手元に付箋が置いてあります。本日は，KJ法という方式で，皆さんがいろいろ思ったことをお手元の付箋に書いていただいて，それを模造紙に貼っていくのですが，最初はすぐに貼らないでください。書いたものは，手持ちしてください。発表しながら貼っていきます。途中で，整理するという作業に入っていきますので，その都度，ご説明いたします。よろしくお願いいたします。

では，個人ワーク時間は5分くらいですが，各テーブル，2地域ございますので，大体3分ずつくらいで，それぞれの地域についての「強み・弱み」を出していただく形になります。ピンクが強みです。弱みは水色です。間違えないようにしてください。

では，今から時間を計ります。3分たったら鳴らしてもらいます。考える時間を考えながら，お願いします。

（各グループにおいて，作業中）

事務局：では，まだ書き足りない方，いらっしゃるかと思いますが，発表者の意見を聞きながら，また書いていただいても構いませんので，次の作業に入りたいと思います。

今、書いていただいた付箋を、皆さん、それぞれ順番に読み上げていただいて、模造紙に貼っていきます。貼っていく時に、内容について伝えていただくということをお願いしたいと思います。ここの作業は、ほんの15分程度でやりたいと思っておりますので、書いてある内容について読み上げて貼っていただく。後ほど作業をするのですけれども、もし似たような意見で、同じような発表内容であれば、近いところを貼っていただくような形でお願いできればと思います。

では、よろしく願いいたします。

(各グループにおいて、作業中)

事務局：15分たちましたので、各テーブルで、ファシリテーターが中心になって、5分間で付箋の整理をお願いいたします。

(各グループにおいて、作業中)

事務局：作業中だと思いますが、引き続き35分間、自由な時間を取りますので、強みと弱みを踏まえた地域での取り組み、地域のことについて話し合いをお願いいたします。

(各グループにおいて、作業中)

事務局：8時から発表しますので、各班とも取りまとめをお願いいたします。

(各グループにおいて、作業中)

事務局：では、これから発表を行います。初めに、北ノ台小学校・深大寺小学校地域です。見にくい方は、声で聞いていただくのですけれども、席のほう移動していただいても構わないのでよろしくお願い致します。発表は、Bグループから願います。

Bグループ：まず、北ノ台・深大寺地域の「強み」でございます。まず、住民活動が活発である。それから、地域資源がある。例えば、資源としましては、神代植物公園あるいは深大寺を中心とした観光資源であるとか、その他に両者に共通していたのですが、駐在所がある。そういったものがありまして、地域資源が比較的豊富であると。もう1つ、調布市には4つの施設があるのですが、この地域に2つもあるというような特色もあります。

それから、今、北ノ台小学校で1年生が5クラスになった。その前が4クラス。その上が3クラスです。そういうことで、子どもが大変多くなっている。そういう意味で、子育て世代が多くなっているという特色があります。

地域の弱みですが、高齢化率が高いということで、高齢者が比較的多い地域ということが言えます。自治会の加入率も低く、地域との関わりを持つ方が少ない人も多い。それから、支援学級がないため障害児への理解が薄い。4番目に、医療機関、公共交通機関が少ない。空き家が多いということがあります。

強みを伸ばしていくためにやることは、子育て世代が多いということから、そういった世代の方によく参加してもらい取り組みをもっと進めていこうと。それから、地域資源を活かしたイベントです。例えば、朝市がありますが、この地域は比較的農家が多いということもあって、農産品を出品していただく催しがあります。そこでは、世代間交流であるとか、福祉作業所等も入っての販売会が同時に行われていることもあって、今、朝市が大変盛んになっております。参加者を増やすための送迎車を用意するといったこともやっております。

それから、弱みを補うために実施することですが、活動をもっと活発にしていくために、空き家を活用したサロンを増やしていく。あるいは地域資源を洗い出して、もっと活用する方法を考えていこう。地域施設を持っている、例えば先ほどの送迎車とかありましたが、そういった車を活用で

きないか、検討していこうということでございます。

地域の強みですが、まず上ノ原・柏野では、介護施設が多い。若い世代が多い。地域活動が盛ん。地域の弱みですが、地域の連携が弱い。新世代・旧世代の連携が悪い。ひだまりサロンが少ない。介護施設が地域に開かれていない。商店街の衰退が進んでいる。上ノ原小学校の生徒が急増しているということがあります。

そして、強みを伸ばしていくためにやることは、地区協と自治会が先ほどの新世代・旧世代のくくりになっているのかもしれませんが、ここの連携協力をもっと進める。それから小学校を中心とした拠点づくりを進めていこうと。誰もが参加できるイベントといったものを、もっとやっついこうと。

弱みを補うために実施することですが、商店の活性化、空き店舗の活用をする。施設の情報を集めて活用する。地区協議会と自治会の協働を進めていくということ。以上です。

事務局：次、Aグループお願いします。

Aグループ：続きまして、緑ヶ丘・滝坂小学校の東部のほうの地域です。仙川とかつつじヶ丘駅があるエリアです。強みに関してのお話、弱みに関してのお話で進めていきたいと思えます。

強みです。地域のつながりが強くて、近所付き合い、親族付き合いなどを行っている割合が高いということがアンケートなどから得られております。あとは、環境面で、病院、歯科のクリニックが多いかと思えます。芸術のまちなど、せんがわ劇場などの利点があって、若者の人口が増えているということが2番目。3つ目の強みとしては、まちづくり協議会が活発で、桜祭りの定着が見られるという強みがありました。なので、強みを生かしていくにはどうしたらいいのかということを考えてみました。

まずは、環境面でいろいろな資源があることに関して、地元のお店とか病院を活用していきましょう。それから、百合女子大学と桐朋学園があるということもあって、どんどん連携を強化して、若い人たちを巻き込んでいけたらいいですね。3番目としては、弱みはこれから申し上げますけれども、強みと弱みの両面を活かしつつ、地域への愛着が強い反面、不安も多いので、安心して住み続けられるように、特に一人暮らしの高齢者の方たちとか、住民の助け合い、見守りなどの仕組みをつくっていきましょうというお話がありました。

弱みとしては、緑ヶ丘・滝坂地区です。自治会の加入人口が少なく、地区協議会との共生がスムーズに運営されていないという現状があります。2つ目に、環境面で、団地の建替えとか商業施設の少なさなどの不安がある。団地内にお店がなかったりする現状があるようです。3つ目としては、高齢化に伴って、一人暮らしの方が増えていき、地域の安全、災害対策に不安を感じている土地柄だと推測しました。

それに対して、弱みを補うための対策としては、団地の建て替えに対する、地域における相談の仕組みをつくって、不安とかを軽減していきましょうねということ。そして、マンションの方は自治会の加入率が少なめとお伺いしましたので、マンションに住む人々に対して自治会づくりを働きかけるのがいいのではないかという意見も挙がりました。

後半です。今度は若葉と調和です。仙川、つつじヶ丘の真南にある地域で、若干道が低い土地柄

もあります。武者小路実篤の実篤記念公園が、そこに含まれるかぎりぎり含まれないかという感じの地域ようです。その辺りです。

地域の強みとしては、まずは自治会の加入率が高いということ。地域のつながりが強いということ。そしてボランティアへの興味が強いという地域でいらっしゃるのかなと推測しました。

強みを伸ばしていくためにやることとしては、自治会加入率が高いことをフィードバックして、あなたたちはもう加入しているんですよという正の評価をしていくという形ですかね。それから、既につながっているグループをネットワーク化していき、大切に熟成させていくということ。小地域の、それぞれのボランティアの情報を共有していくことで、大切なことを育てていったらいいのかなと思いました。

地域の弱みとしては、地形の弱みということで、急激な坂があつて真横に抜けるような感じの土地柄であります。仙川・つつじヶ丘の辺りが高くて、下っていく感じですかね。坂が多いというのは、バリアというわけではないけれども、上と下で地域断絶につながっていきやすいのではないかな。あとは病院などの施設が少ないということで、健康不安などが起こり得るのではないかな。あとは近所付き合いが少ないということも推定しました。

弱みを補うために実施することとしては、住民主体で、地域の独自の交通システムをつくる。坂が多いという土地柄を逆に利用して、電動自転車とかを使って、送迎のシステムなどがつくれたらいいのではないかな。あと施設の少なさに対しては、少なさを逆に生かして、少ないながらということで、今ある病院などを介して地域づくりへの意欲を促進していけたらいいのではないかな。そして、近所付き合いが少ないということで、自治会単位でのつながりづくりをしていくということ、お祭りとかサロンとか、地域福祉コーディネーターの方たちのご活躍とかを推進していくことができればいいのではないかなということも、アンケート結果や地元の意見などを元にまとめてみました。

事務局：Cグループ、お願いします。

Cグループ：八雲台・第二・国領圏域です。地域の強みは、災害に備えるまち、対応ができる。防災訓練をやっているのです。2番目は、地区協、自治会があります。3番目は、便利な地域で大型スーパーがあります。そのほか、お祭りが盛んで交流が多いです。

地域の弱みは、1番、都会化環境。ビル風がすごいのです。2番が団地の高齢化、孤立。3番が地域活動への参加が少ない。ひいては、通学路のローテーションも、PTAの方に参加を求めているらっしゃいます。

強みを伸ばしていくためにやること。1、挨拶、訓練を継続する。2、自分から進んで挨拶を心がける。子どもを集めるための工夫をする。親が参加してくれるようにする。

弱みを補うために実施をすること。1、日ごろから声掛けし、顔の見える関係をつくる。2、近くのひだまりサロンに参加を促す。3、包括などの関係機関とつながる。以上です。

それでは、Cグループの布田地区・染地地区・杉森地区の発表者の西片です。地域の強みは、1番目、人間の基本である挨拶ができています。これは、長年住んでいる人の挨拶がうまくいっているわけですね。2番目、子ども会・自治会などで、自主的に住民活動が盛んである。これは和やかにいっているということです。3番目、子どもから大人まで、世代間交流がある。大人も子どももうまくいっているということがよい点です。

弱みの1番、強みの逆で、近隣同士で生活が浅いと、こちらから「おはようございます」と言っても何の返事もない。2番目が、住民の2代目、3代目が一番交流がなくて、挨拶しても返事が返ってこない。3番目、階段のみの集合住宅で、重い荷物を持つことがすごく難しく困難です。エレベーターがない所があります。これが一番生活しにくい。

強みを伸ばしていくためにやることはどういうことか。1番、バーベキューや餅つきなどの行事を行うことで、交流をよくする。2番目、大人から子どもへ、地域の方々が声を掛ける。こちらから自発的に声を掛ける。3番目、家庭からの習慣を大切にすること。家庭の子どもの教育を大切にする事によって、もう一度持ち上げる。

弱みを補うために実施すること。1番、自治会に入るメリットをよく伝えること。なかなか自治会に入る方が少ないわけです。自治会の目的をはっきりして、自治会は困ったときに力になるということ伝えること。2番目、無理のない形で自治会を進めるということです。ソフトに言って、自治会はこうやっていて、天災地変のとき、何か事が起きた場合は隣近所で助け合うということ。天災時に、警察と消防、自衛隊を頼りにできないときがあるわけです。そういう機関も天災地変に遭っている場合がありますから、自分のことは自分で守るということです。

事務局：Dグループをお願いします。

Dグループ：第一・富士見台・多摩川圏域の、強みと弱みを挙げています。この辺りは、調布の駅を境に北と南に分かれていて、近い地域ではあるのですが、北と南で、商売している家庭だったり、サラリーマンが多かったり、少し層が違うのかなという話がでました。

強みは、若い世代が多い。それから、駅前とかを含めた社会資源が豊富。3番目、ボランティア活動の意欲が高いということが、アンケート結果から出てきました。

地域の弱みは、ボランティア活動に意欲が高い世代と、若い世代のつながりがうまくできていないというところ。2番目が、地域のつながりが弱いというところが出てきました。

強みを伸ばしていくためにやることは、若い世代が地域に出ていくために、参加するボランティアなどを、なるべく若い人が参加しやすい、参加して何か得があるという形で気軽に出ていけるような、地域に出ていくためのハードルを下げる取り組みが必要ではないかということ。出て行く時に、活動の意義を可視化と書いているのですが、出ていって、自分たちがこういう地域の中で活動していったときに、例えば仮想通貨みたいな形で、こんなお手伝いをしたらこんなポイントがもらえて、それを活かせるとかいうものがあると、若い世代の参加も活発になってくるのかなという意見が出ました。

地域の弱みを補うためにというところで、興味のあるテーマで活動に参加してもらおう。今、若い世代も、高い世代も、災害対策に対しては共通して興味・関心が高いのではないかとこのところ、興味のあるテーマで活動に参加してもらえる工夫が必要ではないかということ。それから、活動の日時の幅を土日などに広げるということで、これは土日だけではないのですが、今、若い人たちを中心に、生活スタイルがばらばらで、土日だけがお休みというわけでもないのだけれども、どんな人たちにそこに参加してもらいたいのかというのをしっかりと考えて、狙ったところで設定をするというのかなということ。活動の内容によって、ターゲットを絞るとするのは同じですね。弱みを補うこととして実施することとして挙がりました。

第三・石原・飛田給圏域ということで、こちらは調布の一番西側，端っこの地域になります。大変，福祉施設が多く，グラウンドとか，広い敷地が多い場所になります。

地域の強みとしては，福祉施設が多く，その福祉施設を災害時の避難場所にできる，グラウンド等も含めて避難できる場所が確保できるのではないかとということ。2番，人が集まる地域であるという同じようなことです。3番目に自治会が多いとあるのですけれども，自治会が88あるということでした。

弱みが，店が少なく交通の便が悪い。高齢化率が高い。近所付き合いをしている人が少ないということで，自治会が多い反面，近所付き合いをしている人が少ない。自治会は88あるのですけれども，一番少ない自治会は4世帯で構成されているという形で，かなり細々とした付き合いの中で生活されているということです。そんなところが弱みのほうに入ってくるのかなと書いています。

強みを生かすために，障害者だったり高齢者の福祉施設があるのですけれども，そこにはこんな建物もあるよとか，こんなものがそろっているよ，こういう人たちがいるよとPRしていくことで，いざというときに活用できる場所になるのではないかとということ。地域住民型の集いを行うなど，イベントができるといいのではないかとということ。自治会の構成が高齢の方たちになってきてしまっているので，若い世代の加入を促す活動ができればいいのではないかとということ。あと，先ほども言っていましたが，外語大などもあるので，そういう若い世代の力を地域に持ってこれないかということが出ました。

地域の弱みを補うこととしては，若い世代をうまく活用していく。高齢化率が高い中，若い世代とうまくつながることができるよとか，高齢者の活躍の場をみんなで考えるということ。それから敷地を利用して，イベントなどを行っていくということが出ました。

事務局：ありがとうございました。今，計画を策定中で，本日もいろいろご意見や，このあと12月に地域別の公聴会なども実施してまいりますので，そういった中から少し地域の特徴等を洗い出して，計画のほうに盛り込んでいきたいと考えております。また今後，報告書を作っていく段階でご紹介していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ことあとは，会長にお願いいたします。先生方からコメントを頂きたいと思っております。会長，よろしくをお願いいたします。

会長：では，慣例で副会長から。

副会長：すみませんでした。大学の授業だったものですから，遅くなってしまって，ここの作業にはあまり参加できなかったのですが，お話を聞かせていただいて，あらためて，調布は広いなど。東京都を地図で見ると小さいのですけれども，それでも随分と地域特性があるんだなど。地域活動が盛んな所，盛んではない所，自治会活動が盛んな所，そうではない所と随分いろいろある。やはり，いろいろな活動が花咲くのは地域活動が盛んな所，ということは，結局地域のつながりが強いところかなと思うので，そういうことをどうやって強化していくのかなと思っています。

私の住んでいる所は，30軒くらいの新しくできた宅地造成の所へ，子どもたちと一緒に住んでもう20年近くなります。思い返すと，子どもの小学校で同年代がつながっていたときは，地域のつながりがすごくあったのです。けど，今はもう，みんなだんだん高齢化のピークの手前くらいになってきて，あまり付き合わなくなってきたという感じで，地域全体が高齢化するという問題もあるのかなと。移ってきた時はいいのですけれども，やはり新住民・旧住民という言葉がありますけれ

ども、いろいろな年代の人が入っているという意味ではないので、一気に高齢化していくというエリアがあります。そういうところの問題などどうするのかとったりしながら、お話を聞かせていただきました。これが計画に活かされて、いい計画ができればいいなと思っています。

どうもありがとうございました。

委員：慣例だと副会長が最後お話しすると、そのあと会長で、私の役割がないということが多かったので、安心をしていたのですが、慣例どおりではない順番で回ってきたので、少しだけ感想を述べさせていただきたいと思います。

地域福祉の原点というのは、その地域のことを知るということにあるのではないかと思います。今日、感じたのは、ある意味では逆説的なのですが、ほかを知ることによって、その地域に対する理解が深まるのかなと感じました。

その「ほか」とはどういう意味なのか、2点あります。まず、ほかの人が、自分が住む同じ地域をどう見ているかを知ることが、その地域を理解する上で非常に役立つだろうと感じました。同じ地域に住んでいると言っても、年齢、性別、家族構成等々、いろいろ皆さん違うわけで、そうするとその立場によって、地域との関わり方とか、どういうふうに見えているかが大きく異なってくる。それをみんなで持ち寄って共有することによって、地域、自治体がかかなり立体的に浮き上がって見えてくるということを実感しました。

もう1つの「ほか」ですが、ほかの地域のことを知ると。これに関しては、私は今日初めて気付きを得たのですが、各グループで、あえて2つの地区の長所と短所を考えていったかと思っています。2つの地区を検討したことによって、1つの地区だけではないので、比較対象ができました。そうすると、こちらの地域ではこうだけれども、うちの地域ではこうだということで、より特徴が見えてくる。例えば、最初に強みを話した時には、強みとして挙がってこなかったものが、もう1つの地域の検討を経たあとに、そちらではこういうことが弱みとして挙がっているけれども、それが無いということは、うちの地域には実はこういう強みがあるんだというふう気付いていく。そんなことが実感できました。

それから、長所と短所に関しては、これも恐らく皆さん作業されている中で、多くの方が実感されたのではないかと思います。きれいに長所と短所に分けられない。あるいは、最初、分けたつもりだったのだけれども、あとで、実はこれは長所でもあるけれども短所ではないかとか、実はこの長所と短所というのは根っこでつながっているのではないかと。そんなような、アイデアが割り切れない部分、長所と短所にきれいに分けられない部分というものを実感されたのではないかと思います。やはり長所と短所というのは、独立してあるわけではなくて、むしろその2つが表裏の関係にある場合も非常に多い。例えば、商業施設が多くて非常に便利だと。でも、だからこそ、地域のつながりの必要性をなかなか感じられなくて、そこが弱みにもなっているのではないかと。いったような具合に、表裏の関係にある場合が多かった。

そんな中で、短所をどうやって長所に変換するかということですが、短所、弱みとして捉えていることが、本当に弱みなのかどうかということも考えていく中で、皆さんの中に変化が起こっていくのを今日は感じました。例えば、高齢化率が非常に高いよねと。高齢化が高いことは、一般的には非常にネガティブなこととして捉えられるわけですが、必ずしもそうではないのではないかと。皆さんが気付いていった過程を拝見していました。例えば高齢化率が高

いと言っているけれども、ほかの地域にはない大学という社会資源があって、そこの学生さんは潜在的なボランティアとして実はかなり期待できるのではないかと。あるいは、高齢者が多いと言っても、元気な高齢者の方が非常に多いわけですから、そういった方々の中には仕事をやっていらっしやらない方も多く、地域に根ざして生活としていらっしやる。こういった方々の活躍の場をつくることで、実は地域の課題というものを解決していけるし、その過程を通して、地域の福祉力を高めていけるのではないかと。こんな気付きがありました。

すみません、時間が超過しましたがけれども、私からは以上、簡単に2つ、感想を述べさせていただきました。

会長：どうもありがとうございました。発言したあとに拍手があるというのは、普段の委員会ではないものです。今日、やはりこういうグループに分かれて、みんなで話し合ってみたのは非常に良かったなど。進行役の方もご苦労されたと思うのですが、こういうやり方にだんだん慣れていくと、より話し合いが深められるのではないかと。これは時間を取って、こういうことをまとめてください、30分差し上げますと言っても、なかなかそうはいかないのですが、きちんと区切りながら進めていただいたというのは非常に良かったなど、ひとつ思っています。

それから、地域で実際に座談会などをやっていくときに、今日出た強み弱みというところを、今日はまだ抽象的なレベルが多かったのですけれども、こんなことがあるんだとか、こういうことはすごく大事なのではないかとということ、具体的にみんなで考えてみることもできるというのではないかと。特に、最近よく言われているのは、地域のいろいろな資源を使う場合にも、どれだけ我々のほうに発見力があるか。活動している人たちや、普段何気なくやっていらっしやるのが、実は非常に意味を持っているなんてことが多いわけですね。そういう意味で、強みと弱みについても、具体的に深めてみていただくと、地域の方々には、うちの地域もなかなかいいのではないかと。ただこういうことも少し考えなければいけないねということが、明らかになるのではないかと思いました。

それから、お話をずっと伺っていて思うのは、それぞれの地域性がすごくある。先ほど和気副会長もおっしゃっていたのですが、調布はコンパクトシティのような感じがするのだけれども、実は山あり川あり森ありで、特に、私、今日来る前にちらっと第一の所に入ってみたのですけれども、どこかのデパートにいるような感じがしまして、調布も変わったなと思いました。そういう、すごく大きな違いがありますよね。資源で見ても、確かに医療的な資源は、近隣まで含めれば非常に恵まれている地域だなどと思います。その中で、子どもたちは増えているけれども、1人で暮らすとか、夫婦だけの2人暮らしの方、若い人だって結婚していない人たちもいっぱいいるわけで、そういうことを考えていくと、安心した暮らしをどうつくるのかということが、非常に大きなテーマなのではないかと1つは思いました。

それから、先ほど、自治会が根幹的にこんな役割があるのではないかとというお話があったのですが、なぜ自治会に入らなくなったりやめているかということ、自治会の活動に、例えば年をとって迷惑をかけるだけだから辞めたい、申し訳ないから辞めるという人が実はすごく多いのです。自治会は、そういう一番大事なときに助けてくれる組織だとおっしゃったのですが、助けてくれる組織という実感がないわけですね。役が来るだけだから、役ができないから、申し訳ないから辞めるということになっているので、例えば自治会がきちんと見守る仕組みをつくるか、困ったときは助ける

仕組みがあるとかいう自治会をつくっていきながら、自治会はどう必要なんだと言えるかというところあたりも、次には考えなければいけないのではないかと。

そういう意味で、助け合いの仕組みを、どういうふうに具体的な日常的な地域の中につくるかが1つの課題かなど。それを実際、誰がやるかという話になるのですが、1つは高齢者だと思います。高齢者にそんなことをさせるのかという人がいますけれども、80歳になっても90歳になっても元気でいろいろなことができるのです。それは、普通にフルにできるわけではないけれども、社会的な役割とか参加をして、みんながこの地域に住んで、自分もこんな役目を果たしているんだと思えるような地域をつくるというのが、非常に大事ではないかと。

それに、大きなパワーとしては、何と言っても大学があるというのは大きいと思うのですよ。それから高校なんかもそうだと思うのですが、今は大学なんかでも、地域との関係をどうつくるかというのは文科省も非常に重視してまして、どの大学でもそういう問題意識を持っているのです。もっと地域社会と大学との関係をつくりましょうと。大学も1つの大型の市民で、それが大きな土地でいろいろな仕事、活動をしているのに、その地域から離れて独立しているというのも変なので、そこをどうやってお互いにつないでいくかということを考えるだけでも、相当なパワーが調布にはあるのではないかと思います。

常にいろいろな取り組みがされて、連携も図られていると思うのですが、もう少しダイナミックに考えることはできないだろうかということも議論が出ましたので、そんなことも含めて、それぞれの地域ごとで深めると同時に、そういうこと深めていくと新しい調布の取り組みの方向が少し見えてくる可能性もあるのではないかと思います。

非常に活発に作業して議論もしていただいて、報告もしていただきました。これが1つの計画づくりの、また大きな段階になったのではないかと思います。今後ぜひ、こういうものを踏まえながら、さらに計画がいいものになるようにしていきたいと思います。ありがとうございました。

事務局：どうもありがとうございました。今日の予定はこれで終了となります。委員の皆様ありがとうございます。次回は11月13日になりますので、よろしくお願ひします。月曜日です。

次回は、皆様方にお示しできるような第7章までをある程度作って、お見せして、そのあと皆さんからご意見を頂いて、12月にパブリックコメントだったり、説明会だったりを行っていくような予定になります。3計画の公聴会というのを12月10日(日)にやる予定です。3計画というのは、調布の地域福祉の計画、高齢者の計画、障害者の計画の3つになります。そのあと、翌週12日から、8地域を順番に回りまして、地域別の公聴会を実施していく予定でおります。次回にはそのご案内をさせていただきます。委員の皆様大変恐縮なのですが、近くご自身の地域の所に、ぜひご参加いただければと思っておりますので、その節はまたよろしくお願ひいたします。

本日は、少し予定時間をオーバーしてしまいました。

ありがとうございました。